

～自動車の安全・安心を守るエンジニア～

自動車整備の仕事

直す喜び



感謝される喜び



自動車の整備

自動車の整備は、自動車を安全かつ快適に使用するためには必要不可欠な仕事です。自動車は私たちの生活に深く関係しており、自動車の整備が担う社会的な役割は大変重要なものとなっています。

社会的に役立つ仕事

社会の安全や地球環境を守るためには自動車の整備を適切に行う必要があります。自動車の整備は社会に貢献する大切な役割を果たしています。

技術を活かせる仕事

自動車業界では、ハイブリッド車や電気自動車など自動車の進化とともにその整備に必要な高い専門技術と知識を身につけた自動車のエンジニア(サービスエンジニア)が求められています。サービスエンジニアはそれらの新技術を理解し、適切な自動車整備を行うための技術を身に付け、それを発揮できる仕事です。

近年では、新技術に対応した自動車整備のために、コンピューターを活用した診断などの機会も増え、習得した技術を活用する場面が増えています。

将来の展望

近年、自動車整備の技能を習得された方が活躍される場が広がっています。自動車整備の技能を習得後、技術のスペシャリストを目指せるだけでなく、自動車販売などの関連分野においても、会社経営に携わる重要なポジションに就く方も増えています。このように最近、サービスエンジニア出身で、習得した技術を存分に発揮して多くの方が活躍されています。

自動車整備士制度

自動車整備士とは、自動車の点検整備に関する専門的な知識・技術を有する国家資格です。

自動車整備士の種類

一級自動車整備士

自動車の全般的かつ高度な整備ができる。



二級自動車整備士

自動車の一般的な整備ができる

◆自動車整備士は一定の実務を経験後、国が行う自動車整備士技能検定の学科試験及び実技試験に合格する必要があります。

◆なお、登録試験機関による登録試験の合格、自動車整備士の養成施設の修了等により、自動車整備士技能検定の試験の一部又は全部を免除することができます。

三級自動車整備士

各装置の基本的な整備ができる

特殊自動車整備士

特定分野において専門的な知識と技能を持っている。(タイヤ、電気装置、車わく及び車体)

(自動車の整備工場には、自動車整備士の有資格者が必要です。)

認証工場

地方運輸局長等から分解整備を行う事業の認証を受けた工場

二級以上の自動車整備士
資格が1名以上必要^(※)

整備従業員の1/4以上が
三級整備士以上が必要

※認証工場は、二級以上の自動車整備士資格取得者を整備主任者に届出しなければならない。

指定工場

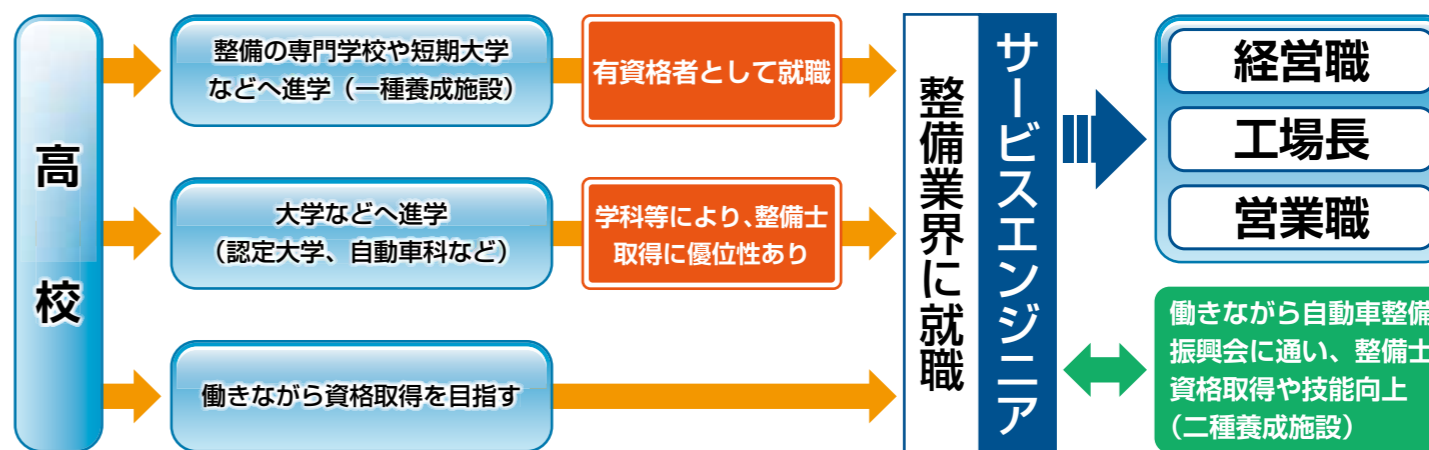
自動車の車検を行うことができる工場(民間の車検場)

車検の実施には二級以上の
自動車整備士資格必要^(※)

整備従業員の1/3以上が
三級整備士以上が必要

※指定工場は事業場ごとに、整備主任者経験者である自動車検査員を届出しなければならない。

自動車整備業界を目指すには?



●自動車整備士についてのホームページ【国土交通省】 http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk9_000011.html GO

自動車整備士養成施設の一覧は、上記ホームページ内の「自動車整備士養成施設」に掲載されています。養成施設の情報は、一種養成施設は個々の学校等に、二種養成施設はお近くの自動車整備振興会にお問い合わせください。このパンフレットは、国土交通省のホームページに掲載しています。

●登録試験に関するホームページ【(一社)日本自動車整備振興会連合会】 <http://www.jaspa.or.jp/> GO



自動車整備人材確保・育成推進協議会

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 / 全国自動車大学校・整備専門学校協会 / 全国自動車短期大学協会 / 一般社団法人日本自動車販売協会連合会 / 一般社団法人全国軽自動車協会連合会 / 一般社団法人日本自動車工業会 / 一般社団法人日本自動車連盟 / 日本自動車車体整備協同組合連合会 / 全国自動車電装品整備商工組合連合会 / 全国タイヤ商工協同組合連合会 / 全国オートバイ協同組合連合会 / 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会 / 日本自動車輸入組合 / 公益財団法人日本自動車教育振興財団

自動車整備の仕事について

乗用車をはじめとしてトラックやバスなどの自動車は、人やモノを運ぶ存在として、毎日の生活、経済活動に欠かせない大切な役割を果たしていますが、適切に使用されないと事故や環境汚染の原因にもなります。このため、安全で環境と調和のとれたクルマ社会を築いていくためには、安全環境性能を維持するための自動車の整備が必要不可欠となっています。

また、最近ではハイブリッド車や電気自動車といった新しい技術を取り入れた自動車が次々と登場して広く普及し始めており、自動車の整備は**新技術の自動車に対応できる専門的な知識と高い技能が求められる仕事**となっています。

自動車整備の分野では、このような高度な技能を習得した自動車のエンジニアが求められています。

自動車の整備

今街を走っている自動車は、スマートフォンやタブレット等と同様に、私たちの身近な存在であり、社会にとってなくてはならない存在です。そんな自動車が、突然故障したりしないように、また正常に動ける状態を維持するためには、法律で定められている定期点検などを行い、必要に応じてエンジンオイルや部品の交換などの整備を行わなければなりません。



整備工場(サービス工場)

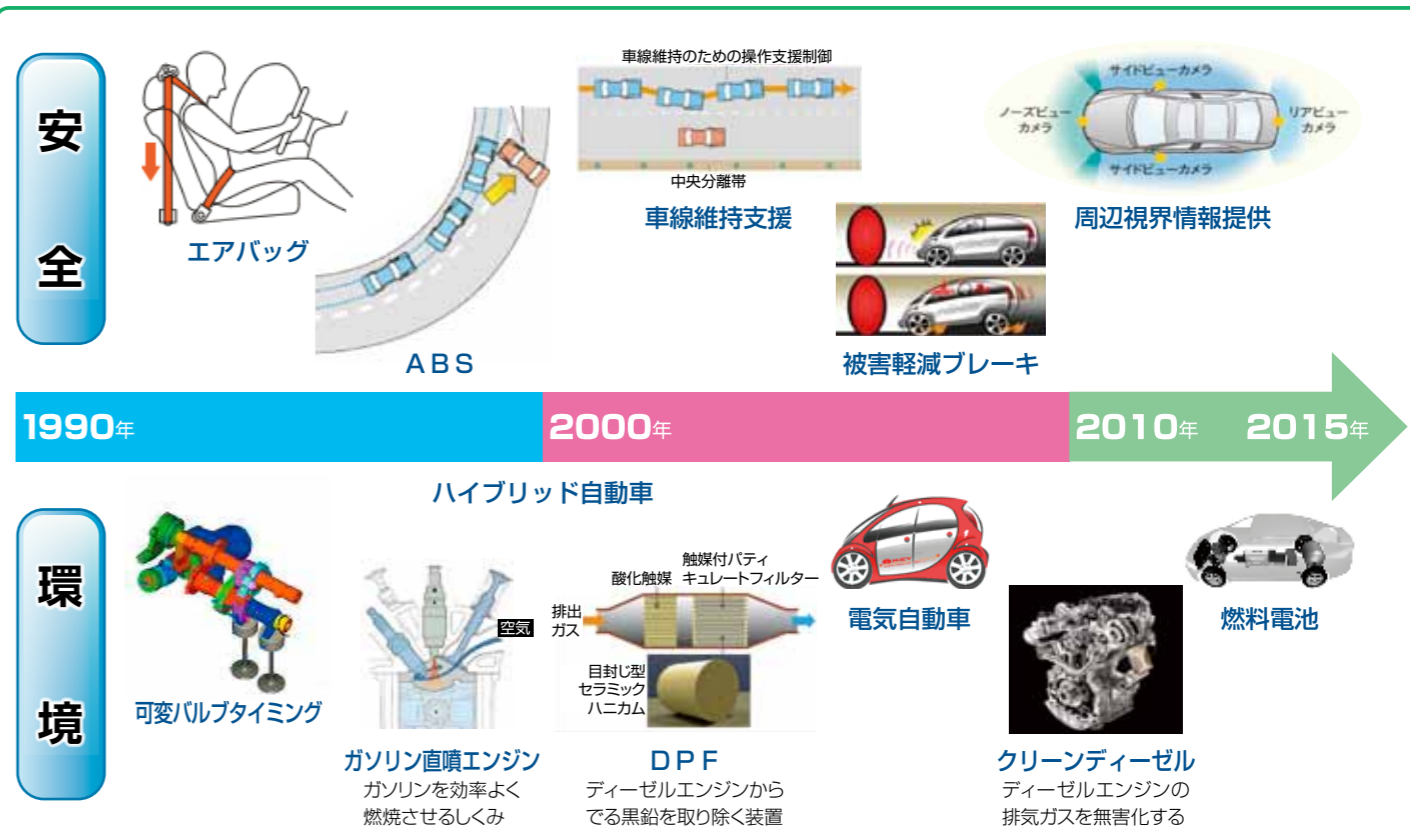
自動車整備の現場であるサービス工場は、自動車の状態を電子機器で診断するなど高度化が進み、先進機器の導入や効率的な配置などにより先進的な工場へと変化しています。



自動車の新技術

自動車には時代の流れとともに、新しい技術が次々と開発、搭載されています。特に、クルマを運転する人や歩行者などの安全を確保する技術、燃費の向上や排気ガスをクリーンにする環境性能を高める技術が多く開発されてきました。

現在も、水素等新しい燃料を使った自動車や、自動運転の技術など、様々な先進技術が研究、開発されています。



整備の先進技術

近年の自動車は『環境保全の性能の向上』『安全性の向上』などのために多くの電子制御システムが使用され、構造や機能が高度で複雑なものとなっています。

このため、自動車の整備においても電子機器である外部診断器(※スキャンツール)を活用したり、インターネットを活用した情報提供ネットワークなどから整備情報を閲覧、収集するなど、IT化が進んでいます。

